



同窓会報

令和2年度
(令和2年11月発行)発行所
世田谷区大原1-4-6
下北沢小学校同窓会発行人
野地勝彰

北沢小学校同窓会が合流

同窓会長 野地勝彰（昭和二六年東大原卒）

今年は新型コロナの影響で総会を開催出来ませんでした。そのため総会で議決していただく議題が持ち越されてしまったので九月に開いた評議員会で、会則に従つて総会の決定に準ずる事項を議決し次回来年の総会に報告することになりました。中でも昨年度の決算報告と今年度の予算は重要事項ですので別ページの内容をご覧ください。

さて今年度最大のトピックは北沢小学校同窓会の合流が決まることです。今年になって話し合いを続けて来ましたが検討が進んで来ましたので来年の総会を待たずに九月の評議員会で合流を議決しました。それに伴い会則も変更いたしました。

学校は既に一年前に統合されしていましたが、これで同窓会も三校統合が完成したことになりました。下北沢小学校はご存知のように新設校ではありませんのでこの機会に統合の歴史を遡つてみたくそれによつて三校は兄弟校であります。

まず初めに一九二七年（昭和二年）東京府荏原第三尋常小学校が下北小の場所に開校しました。当時は関東大震災と小田急線の開通によつて近隣の開発が進み都心からの移住者が激増、児童数が一一八七名になり一九三二年（昭和七年）に守山小学校を新設して八〇〇名を移し、それでも二一九四名に増えたので一九三七年（昭和一二年）北沢小学校を開設、四六八名を移したのです。その後一九四一年（昭和一六年）に第三荏原は東大原と名前を変えました。ですから三校は元をたどれば第三荏原からスタートしたわけで、下北小に統合されたということは言つてみれば三兄弟が名前の変わつた実家に帰つたと言つうようなものです。下北小は三校の歴史を引き継いでいる小学校です。三校の卒業生は二五〇〇〇名を超ますが、名前が変われども下北小の卒業生であり下北小は我々の母校です。

下北沢小学校同窓会
第4回総会のお知らせ

日時：令和3年4月18日(日曜日)
午後3時～5時
会場：下北沢小学校体育館

講演会は、今年4月に予定しておりました流通経済大学スポーツ健康科学部准教授 元日本オリンピック委員会理事、藤原庸介さんのお話です。藤原さんは東大原小学校昭和41年3月の卒業生で、小学校5年の時、東京オリンピックがあり、学校から皆で甲州街道まで行きマラソンのアベベ選手を間近に見ました。

藤原さんは今回の東京オリンピックの誘致にも関わりました。藤原さんの小学校から現在に至るまでをお話しいただきます。

最後になりますが、総会を開催出来なかつたために会費とご寄付をお願いする機会がありませんでした。一方で活動費の他に北小同窓会の合流によつて会員数は激増しますので会報の部数と発送費も激増します。

同窓会は会員皆様の会費とご寄付によつて運営されています。是非同封の振込用紙で納入いただきますようお願いする次第です。



ましたが、インターネット環境のない家庭をどう

支えるか、ということで同窓会に相談と支援依頼（具体的にはオンライン授業を行う上で不足する端末機器をどのように調達するか）があり、学校と現状での障害事項の洗い出しと協議を重ねてきました。

学校からの支援要請については四月下旬に臼井副会長から「学校からSOSが」として役員のみ見、ご提案等をいただきありがとうございました

協議を重ねる過程で、学校よりの報告に下北沢小学校がロイロノートというシステムのパイロット校に指定されたことで、教師用のタブレットが配布され、同窓会から貸与したパソコンを含め教師用の端末機器不足は解消されました。生徒用の端末機器については世田谷区からの貸与台数が不が増加されたため最終的には五台の端末機器が不足ということになり、今週（五月一～五日）の端末機器（タブレット）を寄贈することとしました。また、PTAに対しても応分の負担を申し入れし、機材は同窓会、ランニングコストはPTA負担にて合意しました。

本来であれば評議員会にて審議の上決定すべき事項ですが、新型コロナウイルス感染防止のための外出自粛、三密回避の状況下ですとの同窓会則第五条二項の「母校の教育環境の向上」に合致し、また、緊急を要するものであつたため実行させていただきましたのでご承知をお願いいたします。

なお、次回開催（九月二七日予定）の評議員会にて事後承認手続きをお願いいたします。

等を容易にするため、世田谷区から貸与されるものと同一機種とし、学校内のみにて使用する（生徒が家庭に持ち帰らない）こととしました。また、ホームルーターはPTAが用意し、毎月の利用料等ランニングコストもPTA負担となりました。



東大原小学校卒業生には忘れられない思い出の二宮金次郎像が一年前四月に新しい校舎の東門入口に立ちました。しかし何ということでしょうか。旧校舎の解体作業中に重機の先端が石像の足に接触して膝から下が破損し、それを新しくセメントで修復してありました。膝から上

二宮金次郎の石像修復

同窓会編集委員会

東大原小学校昭和二十年三月卒業根岸依子様寄贈

令和二年七月根岸依子様から郵便が届き幾つかの貴重な小学校時代の思い出が寄贈されました。当時の修了証書、卒業記念集合写真（ここには焼ける直前の校舎が写っています）、小学校一年生の時の作文集です。根岸さまは旧姓菊澤依子様、昭和二〇年三月卒業でお姉さまも妹様も東大原出身とのこと。根岸さまは昭和十九年の学童疎開時は五年生でしたが、参加せきで卒業式が行われ、次頁の記念写真が撮られました。それが二〇〇〇年三月には疎開先から同級生が戻つて東京に残つて当時の第三荏原国民学校に通っていたそうです。少人数で授業を受けていましたが二〇〇〇年三月には疎開先から同級生が戻つて東京に残つて当時の第三荏原国民学校に通つたそうです。卒業式の翌日根岸さまは埼玉県の親戚をたよつて縁故疎開をなさいました。その後すぐあと下北沢は空襲を受け、この写真の校舎も焼け、今回寄贈を受けた文集『ふたば』も焼けました。昭和十四年十二月発行時点の一年生と



寄贈タブレット端末

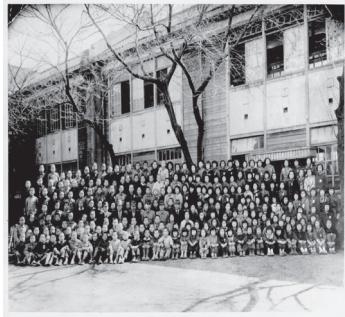
HUAWEI Media Pad T5 10 inch
LTE モデル 5台
金額 121,820円 (1台当り24,364円)



は古色蒼然、膝から下は新しいコンクリートの色といううちぐはぐな姿になっていました。

東大原時代も同じような事故があり、昭和三〇年代からは足と胴体が分かれて体育館の地下倉庫に四〇年以上眠っていました。それを同窓会が平成二五年に修復し校舎の隅に再建していましたものが再び痛々しい姿になつて新校の入り口に現れたのです。壊したものを見つけて修理したが、一応修復作業は終了ということになりましたが、しかし私たちには反対しないが、行政として再修復の予算措置は難しいという結果になりました。同窓会が改めて再修復するのではなくて、同窓生、とくに東大原小学校で毎日あの前を通り記念撮影などをしてきた七十歳以上の同窓生の思いは強く、それなら自分たちで再修復することになりました。修復の費用は三千円でした。

二年生の作文が活版刷りで文集になつていま
す。これら資料は同窓会の宝として長くメモ
リアルスベースに保存したいと思います。ご閲
心のある方は来場のうえご覧になつてください。



アートでつなぐプロジェクト in 北斗に参加して

プロジェクト in 北斗に参加して
昭和三六年東大原卒 漆畠光一

令和元年度も同窓会は本プロジェクトに協賛し楽しむことが出来ました。令和元年十一月三日時点ですで十年十回目となるそうで、地域の子どもや大人がアーチや芸能の楽しみを共有し地域社会のコミュニケーションを図りたいという目的で始まつたそうですが、毎年地域の人々の心をとらえる企画で有難く思っています。今年は板橋の歌舞団「荒馬座」による「実り・祈り・命のまつり」と題して、東北と沖縄、秩父の代表的なお祭り唄やお囃子が出しものでした。そして今年の場所は下北沢小学校の協力により新装なった素晴らしい下北沢小学校の広い体育館で実施されました。

学校生活でした。そんな彼らにとつて最後には予想もしなかつたコロナ禍。一月二七日の休校要請以降の学校側の苦労は計り知れないものでした。ガイドラインに沿つて卒業式をどう執り行うか検討に検討を重ねられたと思います。そして、卒業式は通常の式から規模の縮小・時間の短縮で三月二十五日に開催する事ができました。縮小とは言っても卒業生にとつて必要な事は一通り行き「卒業式」という節目の行事を行えることができ、その節目に親も参列でき、忘れられない思い出となりました。写真のように広い体育馆に子供たちは三密をさけて散会し、参加来賓もなく父兄も一名に限定された式になりました。

コロナ禍の中での卒業式

昭和五五年守山卒 元田雅子

つたり歌つたりで祭に参加してしまいました。

日ごろ上品な私たち
高齢者までもが体が
自然に動き出し、踊

心臓に回旋響き

は私たちの耳ではなく
心藏こ直接響き、子

の前で打せ出され

広い体育館の中でも目

を味わう」とか出来ました。密閉された

加「した」という愉しさ

でのようない観劇

い臨場感と音響の中には

床に座つた私たちは、馬の匂いなどを持つた荒馬座の方



た。行委員長、ご苦労様でし

令和二年第四三回せたがや梅まつり協賛

未だに開催出来ていな
い状況ですが、同窓会
という形で集えること
を親子共々楽しみにし
ています。

令和元年度事業報告・決算報告および監査報告

令和2年度事業計画案・予算案

1. 令和元年度事業報告

(イ) 総会開催

令和元年5月12日(日)第3回同窓会総会を母校体育館にて開催
参加者 144名(東大原卒業生76名、守山卒業生21名、
下北沢卒業生41名、その他6名)

第一部 総会議事

第二部 講演会 郷土史研究家 きむらけん氏による講演
演題「ダイダラボッチ伝説とこの地域の学童疎開」

第三部 懇親会

(ロ) 会員名簿の管理及び会報の発行

下北沢小学校同窓会報(第3号)を4,000部作成し、令和元年11月に
発送。

(ハ) 母校の教育環境の向上

- ・学校からの要望を受け屋外設置大型時計2台を寄贈した。
- ・母校、PTA、学校支援コーディネーター、おやじの会、下北沢一番街商店街などのコミュニケーションを図り、各種催しへ参加した。
- ・入学式、学芸会、運動会、展覧会、学校公開、昔遊び授業へ参加し、学校ボランティア制度等へ協力した。
- ・アートプロジェクト、地域のお祭り等へ参加した。
- ・二宮金次郎石像の色合わせ補修を行った。

(ニ) 同窓生や地域の親睦を図るための事業

- ・本年度は実施しなかった。

(ホ) 地域との連携

- ・世田谷代田のこと祭り協賛(令和元年8月)
- ・下北沢一番街阿波おどり協賛(令和元年8月)
- ・おやじの会主催校庭キャンプ協賛(令和元年9月)
- ・アートプロジェクトin北斗協賛(令和元年11月)
- ・世田谷梅まつり(羽根木公園)協賛(令和2年2月)
- ・新野若狭30周年記念神輿渡御協賛(令和2年2月)

(ヘ) 理事会、評議員会の開催

理事会:4月、6月、9月、12月、1月、3月に開催(計6回)
評議員会:4月、6月、12月、3月に開催(計4回)

(ト) ホームページの管理・運営

下北沢小学校同窓会のホームページを随時更新している。
URL <http://shimokitazawa.school/>

3. 令和2年度事業計画

(1) 総会開催

・4月の総会は新型コロナウイルス感染拡大予防により中止。
そのため、9月27日に開催した評議員会にて会則に則り代行議決した。

(2) 会員名簿の管理及び会報の発行

・年1回の同窓会報作成とより多くの会員への送付を実施し、会費納入会員の更なる増加を図る。
・会員名簿の管理は、「個人情報保護方針」に従い、責任者の下で厳重に行い個人情報漏えい防止に努める。

(3) 母校の教育環境の向上

・母校や学校関係諸団体とのコミュニケーションを継続して行う。
・各種学校関連行事への参加、協賛、寄贈などを学校と協議し実施する。
・母校の緊急支援目的の積立を設け学校と協議し実践していく。

(4) 会員の福利厚生

・会員の親睦を図るための旅行、催し等の事業を企画する。
・地域の方々を含め、会員の幅広い参加を図る。

(5) その他

・地域の行事へ積極的に参加し、地域の発展に協力する。

2. 令和元年度決算報告および監査報告

令和元年度決算報告

(自:平成31年4月1日 至:令和2年3月31日)

(単位:円)

収入の部	予算額	決算額	支出の部	予算額	決算額
会費収入	550,000	409,000	活動費(*1)	200,000	291,192
寄付金	450,000	327,000	会報費(*2)	550,000	542,413
預金利息収入	-	96	総会・懇親会費	40,000	34,621
雑収入	-	5,000	通信費	35,000	28,384
			文具等消耗品費	70,000	42,829
			振替払込手数料負担	50,000	40,581
			振替取扱用紙印刷代	5,000	3,902
			メモリアルスペース費用	50,000	19,263
当年度計	1,000,000	741,096	当年度計	1,000,000	1,003,185
前年度繰越金	2,400,238	2,400,238	次年度繰越金	2,400,238	2,138,149
合計	3,400,238	3,141,334	合計	3,400,238	3,141,334

次年度繰越金の内訳:振替口座 77,743円、普通預金 1,060,406円、定期預金 1,000,000円

活動費(*1)明細

支出内容	金額(円)	支出内容	金額(円)
ホームページ管理費	58,968	印刷代(8ページ建、4,000部)	176,660
寄付・協賛金(6件)	60,000	発送代(クロネDM便 3,637通)	323,693
屋外電波時計寄贈	84,224	名入封筒代(3,500部)	42,060
二宮金次郎像修復	88,000	合計	542,413
合計	291,192		

会報費(*2)明細

支出内容	金額(円)
ホームページ管理費	58,968
寄付・協賛金(6件)	60,000
屋外電波時計寄贈	84,224
二宮金次郎像修復	88,000
合計	291,192

会員の皆様からの会費・寄付金の支出にあたっては、同窓会活動に必要な経費の支出に限定しております。

また、下記のガイドラインを設け、注意を払い、健全な会計を目指して活動しております。

- ・同窓会役員は全員ボランティアとして活動に伴う飲食費、交通費等は自己負担とし、同窓会から支出はない。
- ・親睦旅行やゴルフの会は、会員の一部の人間が参加するものであるため、金銭的援助は行わない。
- ・コピー代、印刷代、通信費など活動のための実費は、領収書を提出し会計の承認を得て支払う。

令和元年度監査報告

我々監事3名は、令和元年度決算書類を慎重に監査した結果、いずれも適正かつ妥当なものと認めます。

令和2年4月2日

監事 吉本 幸一 印

監事 福士 木綿子 印

監事 斎藤 耕一 印

4. 令和2年度予算

自:令和2年4月1日 至:令和3年3月31日

(単位:円)

収入の部	令和2年度予算	令和元年度実績	支出の部	令和2年度予算	令和元年度実績
会費収入	700,000	409,000	活動費	250,000	291,192
寄付金	300,000	327,000	会報費	770,000	542,413
預金利息収入	-	96	総会・懇親会費	-	34,621
雑収入	-	5,000	通信費	20,000	28,384
北沢同窓会余剰金受入	190,000	-	文具等消耗品費	70,000	42,829
			振替払込手数料負担	95,000	40,581
			振替取扱用紙印刷代	7,000	3,902
			メモリアルスペース費用	30,000	19,263
当年度計	1,190,000	741,096	当年度計	1,242,000	1,003,185
前年度繰越金	2,138,149	2,400,238	次年度繰越金	2,086,149	2,138,149
合計	3,328,149	3,141,334	合計	3,328,149	3,141,334

活動費には母校の緊急支援目的積立を含む

同窓生からの寄稿

ダイダラボッチの足跡で遊んだ小学校時代

昭和二十年守山卒 増田勉

私は守山国民学校に昭和十四年に入学しました。当時の通学路は、オリンピックのマラソンコースに予定され大きく拡げられましたが、当時はこんな広い道路がどうしてできるのかと思つたものでした。昭和十五年の東京オリンピックが戦争の始まる時期で中止となりました。

道路は時を経て、現在環状七号線として使われています。環七から曲がったところに守山国民学校があり、そこから下がつたところに小川が流れています。

学校の裏は少し低くなつていて沼地があり私は、そこに隠しておいたバケツや玉網を使って、放課後になると夢中で沼にはだしで入り、遊びました。冷たい感触がとても気持ちよく、このような沼があちこちにありました。

待ち網をして上級生がこれを握り、下級生は沼に入つて、泥鰌や鮎を足で追い込んで捕まえました。獲れた魚や泥鰌はバケツに入れ交代で池のある家に運んだり、あるいは洗面器に入れてそれぞれの家に持ち帰り、飼育しました。

こうして当時遊んだ沼も、水はけが悪くて出来た沼も、今は住宅街になり面影は全くなくなつてしましました。

守山小学校の思い出

昭和二十年守山卒 青木禎子

私が卒業致しました守山小学校は、昭和七年四月に世田谷区代田に開校し、私ども十三期生は昭和十四年四月に入学致しました。当時の校長先生は折田校長先生で男子は一組・二組で女子は三組・四組でした。

昭和十六年に小学校が国民学校と校名変更になりました。

足も四年生までになつてしまい、昭和十九年には逆に、集団疎開、縁故疎開、学校への残留組に別れ、私は集団疎開で長野県飯田市の長清寺に疎開することになりました。お陰様でご住職ご夫妻も大変良い方で、寮母さんや食事を作つてくださる方もよい方で、大変お世話になりました事は一生忘れません。また一緒に疎開しました引率の先生方のご苦労は御大変だった事と感謝の言葉しかございません。



青木禎子様から貴重な資料の提供がありました

同窓会事務局 白井良雄

令和二年四月六日、昨年の会報をご覧になつた守山小学校同窓生の青木禎子様から左記のような貴重な情報と写真をいただきました。左に引用させていただきます。
「(前略)会報の守山関係アルバム欠番の中で守山の十三回生が記載されておりましたが(中略)私の記憶では私も当時六年生は十九年夏集団疎開が始まり、多数の生徒が疎開致し、二〇〇年二月頃に中学受験のため東京に戻つてまいりましたが、時代の影響で卒業式はなく、卒業

りました。太平洋戦争が勃発した十二月以来遠足も四年生までになつてしまい、昭和十九年には逆に、集団疎開、縁故疎開、学校への残留組に別れ、私は集団疎開で長野県飯田市の長清寺に疎開することになりました。お陰様でご住職ご夫妻も大変良い方で、寮母さんや食事を作つてくださる方もよい方で、大変お世話になりました事は一生忘れません。また一緒に疎開しました引率の先生方のご苦労は御大変だった事と感謝の言葉しかございません。

今年はお陰様で米寿を迎えることが出来、幸せなことだと思いますが、ご一緒に迎えることの出来ない友のご冥福をお祈りいたします。最後にもう二度と戦争のない平和な世の中を願うのみでございます。守山小学校で行われ、担任の先生方もご出席くださいました。とても感激の同期会でした。それ以来平成二十六年迄同期会を続けることが出来、友人たちとの絆の深さをしみじみ感じました。今年はお陰様で米寿を迎えることが出来、幸せなことだと思いますが、ご一緒に迎えることの出来ない友のご冥福をお祈りいたします。最後にもう二度と戦争のない平和な世の中を願うのみでござります。



に空襲となり急ぎ帰宅した記憶が御座います。

終戦となり、昭和二十六年に第一回の同期会が

守山小学校で行われ、担任の先生方もご出席く

ださいました。とても感激の同期会でした。それ

以来平成二十六年迄同期会を続けることが出来、

友人たちとの絆の深さをしみじみ感じました。

今年はお陰様で米寿を迎えることが出来、幸せな

ことだと思いますが、ご一緒に迎えることの出来

ない友のご冥福をお祈りいたします。最後にもう

二度と戦争のない平和な世の中を願うのみでござります。

のアルバムや写真もございません。卒業後行つた同窓会の画像を寄贈します(後略)」寄贈写真はメモリアルスペースに保管させていただきました。同窓生の皆様にも閲覧が可能です。

同窓会からの御願い

会費納入の御願い

令和二年度の同窓会はコロナの影響を強く受け、三月から七月までは殆どの活動は自粛いたしました。一方学校支援活動については、命題がコロナ対策のオンライン授業の確立支援でしたので待ったなしで、支援活動を行いました。総会を開くことも出来ず理事会も評議員会も開けない中一番困ったのは例年総会などで頂いている同窓会費や寄付金が集まらなかつたことです。四月初めに立てた予算は収入が激減、支出は増加ということになりました。皆様にお願いいたします。是非年会費一〇〇〇円、寄せなにがしかを同振込用紙で振り込んでいただきたくよりよろしくお願ひいたします。

同窓会活動への参加の御願い

ことしから北沢小学校同窓会も一緒になり、下北沢小学校同窓会は、広い地域を包含した数万人の同窓生を擁する大きな組織になります。この組織を運営するのが数十人からなる理事、評議員の皆さまです。残念ながら高齢化が進んでおります。四十代が最も若く七十年代が平均、八十代も何人かおられます。同窓会を長く続けるために若い方の参加をお待ちしております。年に十日くらいのボランティア活動です。

欠番アルバムを探しています

同窓会では同窓生の皆様が下北沢小学校のメモリアルスペースを利用すれば、懐かしい在学中の写真や記録卒業アルバムまた戦前、戦中、戦後の写真や記録

が閲覧できるよう整備を重ねております。卒業アルバムではまだ欠本がかなりありますので、以下東大原小学校と守山小学校卒業の同窓生に寄贈ないしは複写させていただきたいお願いです。

同窓会メモリアルスペースには、以下の年度(回数)のアルバムがありません。卒業アルバムが学校で作られなかつた時代の物は、各人が持つてある古い写真をスキャンさせていただき、同窓会でアルバムをつくっています。欠番卒業アルバムをお持ちの方、アルバム欠番をお持ちの方。アルバムだけではなく当時の写真、日記、手記などがございましたら、是非同窓会に寄贈、ないしは複写をさせて頂きたいお願いいたします。下記の住所・FAX、メールアドレス、いずれかに連絡いただければ、こちから伺つて対応いたします。

東大原関係アルバム欠番

3月卒業年	回数	欠・一部欠	3月卒業年	回数	欠・一部欠
S4年3月	2回	欠	S24年3月	22回	欠
S5年3月	3回	欠	S27年3月	25回	1,3組欠
S6年3月	4回	欠	S28年3月	26回	欠
S7年3月	5回	欠	S29年3月	27回	4組欠
S8年3月	6回	欠	S30年3月	28回	3,4組欠
S9年3月	7回	欠	S32年3月	30回	2,3,4組欠
S10年3月	8回	欠	S41年3月	39回	欠
S11年3月	9回	欠	S46年3月	44回	欠
S14年3月	12回	欠	H23年3月	84回	欠
S23年3月	21回	3組欠	H27年3月	88回	欠

守山関係アルバム欠番

3月卒業年	回数	欠	3月卒業年	回数	欠
S10年3月	3回	欠	S34年3月	27回	欠
S11年3月	4回	欠	S36年3月	29回	欠
S18年3月	11回	欠	S37年3月	30回	欠
S19年3月	12回	欠	S38年3月	31回	欠
S21年4月	14回	欠	S42年3月	35回	欠
S22年4月	15回	欠	S47年3月	40回	欠
S26年3月	19回	欠	S49年3月	42回	欠
S28年3月	21回	欠	S59年3月	52回	欠
S29年3月	22回	欠	S60年3月	53回	欠
S32年3月	25回	欠	S61年3月	54回	欠
S33年3月	26回	欠	H27年3月	83回	欠

本同窓会は政治・宗教・思想について中立を守ります

同窓会への連絡、問い合わせ、寄稿の送付方法について

現在の事務局の住所は左記のとおりです。恐れ入りますが、連絡は郵便かFAXまたはメールでお願いいたします。メールの場合は事務局のみならず会長など広報担当数名に届きますので、迅速な対応が可能です。

〒一五五-〇〇三三
世田谷区代田六一八一一四 白井良雄宅
FAX 03-3469-9154
メール dosokai@shimokitazawa.school

年会費・寄付金を納入いただいた方々(令和2年9月末日現在)
(卒業年の「H」は東大原小学校卒、「M」は守山小学校卒、「S」は下北沢小学校卒の略)

卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名
昭12H	望月子	昭24H	西川武彦	昭29H	町田恭子	昭34H	竹内千鶴子	昭38H	山崎雅子	昭50H	深沢有子
昭12H	令子代子	昭24H	富士夫子	昭29H	島田肇	昭34H	前田哲	昭38M	猪鹿子	昭50H	渡辺真
昭13H	富田隆信	昭24H	関美津巖	昭29H	藤田充修	昭34H	松山三藤	昭39H	江子	昭50M	妹吉康
昭13H	鮎田敏弘	昭24H	岡橋典	昭29H	佐藤勝	昭34H	安藤忠希	昭39H	高野加子	昭51H	幸満
昭13H	曾我千鶴	昭24H	高橋健裕	昭29H	木藤一	昭34H	峰田太	昭39H	佐尾喜	昭52H	し奈
昭14H	崎谷寛安	昭24H	阪本俊也	昭29H	佐渡大	昭34H	木村慧	昭40H	喜三	昭52H	紀喜
昭15H	我原澤昌	昭25H	内田英司	昭29H	木橋佐	昭34H	木村祐	昭41H	鈴島清	昭53H	俊
昭15H	田村公樹	昭25H	木村健宏	昭29H	佐藤大	昭34H	木村洋	昭41H	木山三久	昭54H	信
昭15H	島川英昭	昭25H	高橋理勝	昭29H	佐藤海	昭34H	木村峰	昭41H	永神中久	昭55H	雅
昭16H	山縣山矢	昭26H	阪本彦	昭29H	佐藤輝	昭34H	木村峰	昭41H	藤青	昭55M	子
昭17H	柏誠	昭26H	南星	昭29H	佐藤伸	昭34H	木村峰	昭42H	池安	昭56H	子
昭17H	高田見	昭26H	澤輝	昭29H	寺内	昭34H	木村峰	昭42M	永神中久	昭57H	子
昭17H	野支坂	昭26H	井倉	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭43H	藤青	昭57M	子
昭18H	山篠永	昭26H	澤生	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭43M	池安	昭58H	子
昭18H	上田大	昭26H	子	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭44H	永神中久	昭59H	子
昭19H	本島山村	昭27H	大久	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭44M	藤青	昭59M	子
昭19H	木村若	昭27H	昭若	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭45H	池安	昭60H	子
昭19H	木田多	昭27H	恵江	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭45M	永神中久	昭60H	子
昭19H	木田高	昭27H	克賀	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭46H	藤青	昭61H	子
昭20H	木田高	昭28H	美明	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭46H	池安	昭61H	子
昭20H	木田高	昭28H	健宏	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭47H	永神中久	昭62H	子
昭20H	木田高	昭28H	理勝	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭47M	藤青	昭63H	子
昭20H	木田高	昭28H	佳京	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭48H	池安	昭63M	子
昭20H	木田高	昭28H	昌克	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭48M	永神中久	昭64H	子
昭20H	木田高	昭28H	賀正	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49H	藤青	昭64M	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭65H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭66H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭67H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭68H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭69H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭70H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭70H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭71H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭71H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭71H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭72H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭72H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭72H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭73H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭73H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭73H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭74H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭74H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭74H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭75H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭75H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭75H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭76H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭76H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭76H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭77H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭77H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭77H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭78H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭78H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭78H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭79H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭79H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭79H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭80H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭80H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭80H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭81H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭81H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭81H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭82H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭82H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭82H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭83H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭83H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭83H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭84H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭84H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭84H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭85H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭85H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭85H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭86H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭86H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭86H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭87H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭87H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭87H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭88H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭88H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭88H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭89H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭89H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭89H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭90H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭90H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭90H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭91H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭91H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭91H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭92H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭92H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭92H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭93H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭93H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭93H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	永神中久	昭94H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	藤青	昭94H	子
昭20H	木田高	昭28H	英昭	昭29H	居木	昭34H	木村峰	昭49M	池安	昭94H	子
昭20H	木田高	昭28									